

コロナ禍で培った負けな い強い心と柔軟な発想に 自信を持って社会に



公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
会長 高橋 千鶴

新年を迎え、学生の皆さんにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

学生の皆さんが、入学された令和2年4月頃には、世界中に新型コロナウイルス感染症が拡大し、日本においても緊急事態宣言が発出されました。歯科衛生士を目指す学びの機会が途絶え、その後も変更せざるを得ない状況が続き、現在に至っていると思います。この間には、学生の皆さんやご家族、学校側の受け入れ態勢など、過去に誰も経験したことのない状況が続き心理的負担も多かったと思います。

しかし、この3年間に過去に類を見ない状況を乗り越えてきた強さと、困難に対して柔軟に対応して今に至ったことに自信を持って、社会人として歩んでいかれることを願っています。

昨年11月20日（日）に兵庫県歯科医師会館において開催しました歯科衛生学術研究会では、3年ぶりに県下歯科衛生士養成機関のうち2校の学生会員が研究発表をしてくれました。コロナ禍の大変な状況の中での研究成果を発表していただき、久しぶりに、新しい視点や学生ならではの発想による研究内容を聞くことができ士気を高めることができました。次年度も楽しみにしています。担当教務の先生方のご指導にも感謝申し上げます。

この3年間は、本会活動も皆さん同様に、さまざまな事業に対して手探りですすめてきました。

活動を振り返ってみると、マイナス面だけでなく、長年の課題であった広い兵庫県内に在住する歯科衛生士に対して、等しく研修が受講で

きる環境を整えることができました。研修会の開催会場が神戸中心だったために、遠方の方や子育て中や介護をしている方が受講できなかった現状をリモートで開催することで解決することができました。

結果、日本歯科衛生士会の都道府県別の研修会の年間開催回数や受講者数も、全国1位と常に上位を占めています。

また、令和2年度には、兵庫県から委託され、生涯を通じてキャリアを積み重ねられるよう県下の全ての歯科衛生士を支援するために、全国に先駆けて「兵庫県歯科衛生士センター」を創設しました。この3年間に、事業の拡大を目指した結果、12月末で746名（うち最終学年の学生が88名）が登録し、多数の方々が研修会等に参加しています。また、求人情報や研修会情報もメールマガジンで最新情報を配信しています。登録がまだの方は、是非登録をしてください。

今後、学生の皆さんが社会へ出て2024年には、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等の報酬改定が行われ、健康増進計画などさまざまな計画が改訂されます。

また、国の骨太の方針など歯科を取り巻く状況も刻々と変化していきますので、勤務先での情報だけでなく、国や県、地域の情報にも広く関心をもっていただき、社会でご活躍されますよう大いに期待しています。

◆ 学術研究発表を終えて

姫路歯科衛生専門学校 3年

竹内 れみ・大西 美優

今回私たちは歯科衛生学術研究会に参加させていただきました。

発表内容としては、2年生の10月から、同年の学生を対象とした「昼食後のブラッシングの習慣化について」の報告を行いました。

発表することが決まった時は、不安な気持ちでいっぱいでしたが、クラスメートから励ましの言葉をもらい、発表のために放課後の時間を活用してアンケートやパワーポイント、原稿等の作成をしたことで、満足のいく発表にすることができたと思います。

最も苦戦した過程は、アンケートの集計でした。記述欄での回答では、様々な意見をまとめることが難しく、無回答の場合はどのように対応

していくかを先生方からのアドバイスをいただきながら少しずつ進めることができました。

学術研究発表参加という貴重な経験ができたことに感謝し、今後、今回の経験を活かして臨床現場で活躍できる歯科衛生士になれるよう努力していきたいと思います。



◆ 11月3日 神戸市東灘区 「第15回 歯の健康フェア」に参加して

兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院

歯科衛生学科 52回生 東坂 歩依

11月3日に神戸市東灘区で行われた「第15回歯の健康フェア」に参加させていただきました。このイベントでは子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が参加されていました。あまりブラッシング指導を受けたことがない方や日々の食生活、歯の大切さについて考えたことがない人からすると、一人でも多くの人が歯や口の健康に興味を持っていただける良い機会なのではないかと感じました。

私は今回、アニメキャラクターのペープサートを使った劇でイベントに参加された多くの方々へ口腔衛生について集団指導をさせていただきましたが、実際に歯科衛生士として臨床の場で指導する時には、一人一人に合った指導が必要になります。そのためには今以上に知識が必要となり、伝え方、指導内容を考えられるようにならないといけないと思いました。そして一人でも多くの方の歯や口の健康を守れるよう、そして正確な指導ができるように知識を身につけようと改めて強く感じました。



臨地実習を振り返って

神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科
3年 足立 真唯

私の学生生活最後の1年は、病院での臨地実習から始まりました。全身麻酔の症例の見学は緊張の連続でしたが、歯科衛生士が看護師や病棟内の多職種と連携をとっている様子を実際に見聞きし、歯科衛生士の幅広い役割を学ぶことができました。

7月に本学学内にある歯科診療所で実施した保護者参加型実習では、母が患者として参加してくれました。特に医療面接での情報収集は、歯科の知識がある友人との相互実習とは全く違い、とても難しく感じました。しかし、今までの実習で学んできた知識を活かして、自ら患者の問題点に気付くことができました。母に頑張っている姿を見てもらえた上に、自分自身の様々な課題が見つかり、とても貴重な経験ができました。

今は国家試験をみんなで乗り越えられるよう、友達と協力しながら勉強に励んでいます。合格した暁には、問題を抱えて悩んでいる患者さんがいたら、寄り添って考え、問題解決に向けて一緒に取り組めるような歯科衛生士になりたいです。



令和4年度の学校生活を振り返って

大手前短期大学 歯科衛生学科
2年 小林 瑠衣

大手前短大に入学し、早1年半が過ぎました。国家試験は、ずいぶん先だと思っていましたが、国家試験対策に奮闘する上級生の姿を見ると、「来年は自分だ」という不安に駆られます。入学当初に比べると、専門用語にも慣れていき、歯科医療に関する知識は増えていきました。しかし、歯科衛生士は技術力も求められるため、最近では学内の相互実習を通して、座学と実習の両立が大切だと痛感しています。

そこで、私は漠然とした不安や緊張感、焦りに支配されず、歯科衛生士における専門性を体得するために、実践的な体験や経験をすることが重要と考えました。そのため、これから始まる臨地実習では、積極的に質問を行ったり、現場でしか学べないことをたくさん身に着けたいと考えています。また同時に、教わるだけではなく、自主学習で知識をより深く掘り下げる努力を重ねたいと思います。憧れの歯科衛生士に

なるために、責任と自覚を持ち、日々精進していきたいと思います。



3年間を振り返って

兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科
49回生 萩原 菜

歯科衛生士を目指し、学院に入学してから早3年が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症の流行により、思うようにいかないこともありました。友人と切磋琢磨し、多くの知識や技術を学ぶことができました。

私は、看護や介護の学生とのグループ学習や実習が特に印象に残っています。それぞれの職種について理解を深めるとともに、歯科衛生士の強みを改めて確認することができました。多職種連携についてお互いに意見を交換するなかで、知識や技術を伝えることの難しさや歯科衛生士の役割について考えることができ、とても貴重な経験となりました。また私自身、目標とする歯科衛生士像をより明確にする大きなきっかけとなりました。

壁にぶつかることもあった3年間でしたが、家族、友人、先生方に支えられ、乗り越え成長することができました。周りの方々への感謝を忘れず、歯科衛生士としてたくさんの方の役に立てるよう日々精進していきます。



公益社団法人兵庫県歯科衛生士会第9回歯科衛生学術フォーラム 歯科衛生学術研究会において学生会員から2題の口演発表がありました。

「歯科衛生士学生おける昼食後のブラッシング習慣化への取り組みと結果について」
姫路歯科衛生専門学校 大西 美優 竹内 れみ

「乳酸菌と歯周病について」
兵庫県立総合衛生学院 柏木 彩香 川尻 亜希奈

日頃の学びの成果が示された学生発表には会場からも称賛の声があがりました。次回の歯科衛生学術研究会においても学生の皆さんの発表を期待しております。

令和5年度卒後研修必修プログラムご案内

新卒の皆さんにぜひ受講していただきたいベーシックコースは10/15(日)、10/29(日)に開催予定です。内容等詳しいことは兵庫県歯科衛生士会ホームページでご確認ください。



公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会

